

簡水13施設を中央一括管理 松江市水道局

松江市水道局はこのほど、水道局庁舎内に「簡易水道管理システム」を導入した。パソコンなどの画面上で、市内9カ所の簡易水道13施設の運転状況（配水池水位、送水流量、残留塩素、ポンプの運転および故障など）を遠隔監視するもので、異常発生時の警報機能も備えられている。

松江市では昭和63年度から、テレメータを利用して、グラフィックパネルで監視する「簡易水道施設遠方監視装置」を導入した。その後、設備の老朽化やデータ

の紙保存が困難になってきたのと併せ、担当者の異動などに伴う引き継ぎが問題となっていた。

平成15年7月から水道局が簡易水道事業の事務委任



客野 課長

を受けただけで、従来のテレメータを新規に取り替えて「簡易水道管理システム」に更新し、水道局庁舎内で一括監視することとした。工期は平成15年10月から平成16年3月までの6カ月間で、監視装置

9カ所や中央監視設備（水道局庁舎）とともに、配水池に残塩計

13カ所や流量計24カ所などを設置した。

「簡易水道管理システム」では、日報・月報・年報とともに、運転履歴や警報履歴など帳票データが保存されるため、施

設の異常が発生した場合、原因究明が容易にできる。また、計測値トレンドなども把握できるため、効率的な施設管理も可能となる。

さらに監視室の広さも従来の約4分の1、維持管理費も従来の約2分の1で済んでいる。なお、携帯電話の画面で警報が確認できるなど24時間監視も可能で、安定給水の確保および維持管理の効率化を図っている。

松江市水道局が今回導入したシステムは、小松電機産業㈱（本社・松江市）が開発した「マスター水神」。専用線T-SDN方式のインターネットを活用し、リ

安定給水や効率化推進

維持管理費の削減も実現

パソコンで遠隔監視



今回の導入について、客野 野夫・松江市水道局工務課長は「操作やデータ保管が簡単で、誰でも使用できるとともに、維持管理費の削減を図ることができ、大いに期待している。将来的には管網図なども盛り込んでいきたい」と話している。

携帯電話の画面で警報も確認可能

